



## 消防すごろく 地震編の説明

- 1 じしんは、いつ来るかわかりません。日ごろからのじゅんびが大切です。
- 2 つくえやテーブルの下にかくれて、自分をまもってください。
- 3 ゆれがとまったら、あわてずにひなんをしてください。
- 4 フロックベいなどは、たおれてあぶないので、ちかよらないようにしましょう。
- 5 車にのっての、ひなんはやめてください。消防車や救急車が通れなくなります。
- 6 電話はつながりづらくなります。なるべく使わないようにしてください。
- 7 テマ(ありもしないこと)が流れます。正しい話をきくようにしましょう。
- 8 大きなゆれが止まったら火を消しましょう。
- 9 外にあわてて、とびだすと、屋根やかべがおちてくることかあります。
- 10 持ち物が多いと、ひなんが大変になってしまいます。ひつようなものだけにしましょう。
- 11 となり近所の人にも声をかけ、いっしょにひなんをしましょう。
- 12 3日分の水と食べものを用意しておきましょう。
- 13 テレビや家具がたおれて、ケガをしてしまうことがあります。

### お父さんやお母さんへ

地震はいつ起きるかわかりません。日頃から地震が起きたときの話を家族でしておきましょう。

家族会議では、連絡方法や集まる場所の確認をしましょう。

1人につき最低3日分の水、食料や必要な物資を避難袋等に入れて準備をするとともにテレビや家具を倒れないように固定をしておいてください。

消防・救急に関する質問は電話番号 25-2119 消防・救急なんでも相談電話へお気軽にTELをしてください。